

令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

扶桑町地域公共交通会議 (扶桑町)

令和3年7月9日設置

令和6年4月 1日 扶桑町地域公共交通計画策定

令和6年6月24日 一部改訂

(計画期間：令和6年4月～令和11年3月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業

- ・地域内フィーダー補助系統確保維持国庫補助金

2. 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組【Do】

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>チョイソコふそうの運行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チョイソコふそうの本格運行の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、前年に比べて232人減少 (14,100人⇒13,868人) ・会員登録者数は、前年に比べて368人増加 (3,438人⇒3,806人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格運行1年目で、昨年度よりは、利用者数は若干減少したが理由は、安全面を考慮した予約件数の余裕率の調整が理由であり、概ね昨年度と同様の利用者であった。登録者数は、昨年度より、368人増加しており、チョイソコの認知度が上がっていることが窺える。
<p>企業と連携した利用特典やイベントの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進につながる外出促進のため、チョイソコふそうエリアスポンサー企業やその他企業と連携してチョイソコイベントを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施 11回 (チョイソコスポンサー関係イベント 4回) ・イベント参加人数 合計 217人 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントにより、チョイソコを含み新たな公共交通の利用機会が創出されており、外出促進に繋がっている。 ・町内のイベントだけでなく、鉄道や他市町の路線バスを利用することで、広域交通の利用促進にもつながっている。
<p>チョイソコふそう住宅地停留所ベンチ設置事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区に設置している住宅地停留所のベンチの配布及び設置 (ベンチが設置可能と考えられる38地区対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・38停留所中28停留所設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館や資源ゴミ回収拠点に停留所を設置しているが、今後、必要か所28停留所にベンチを設置。

3. 計画の目標の達成状況とその理由についての考察【Check】

評価期間：R6.10～R7.9

計画目標・評価指標・目標値		達成状況(○:達成 未達成:△)					考察
		1年目	2年目	達成・未達成	3年目	4年目	
まちづくりを支える公共交通ネットワークの確保・維持	公共交通利用者数 20,200人/日	19,463人	19,950人	△			鉄道利用者及びチョイソコ利用者も増加したものの(前年度比+2.5%)目標は未達成となった。
町民のニーズに対応した公共交通サービスの提供	公共交通の不満度 現況値以下 (10.5%)	—	—	—			令和9年度にニーズ調査を実施し最終年度に評価予定。
あらゆる分野の関係者の連携・協働	関係者が連携・協働した取組件数 5件/年	14件	11件	○			チョイソコイベントを毎月実施し、目標を達成した。(夏季の7月、8月については、熱中症対策のため外出イベントは自粛。)

確認指標

各交通モード1日あたり利用者数

		R4(基準値)	R6.10～R7.9
*1 名鉄犬山線	柏森駅	10,069人	10,944人
	扶桑駅	6,285人	6,687人
	木津用水駅	2,013人	2,262人
チョイソコふ・そう		51人 (R4.10～R5.9)	57人

チョイソコふ・そう利用者一人あたりの町負担額

R4(基準値)	R6.10～R7.9
1,646円/人	1,700円/人

チョイソコふ・そうイベント開催回数

R4(基準値)	R6.10～R7.9
7回	11回

タクシーチケット利用回数 *2

		R4(基準値)	R6
障がい者	交付人数	609人	726人
	利用回数	3,874回	3,631回
高齢者・要介護者、 要支援認定者	交付人数	2,525人	3,284人
	利用回数	21,125回	18,849回

注) *1、*2についてはR6年4月～R7年3月における集計

4. 自己評価から得られた課題と対応方針【Act】

■課題1

各交通モード(名古屋鉄道3駅、チョイソコふそう)の利用者は前年度比で増加はしているものの、目標利用者に達していない。

【対策】

- ・チョイソコの利用率の低い午後の時間帯の利用促進をするためのイベント創出や新規スポンサー獲得を行う。
- ・チョイソコイベントを中心に、名古屋鉄道や他の公共交通機関を利用したイベントを継続的に実施していくことで名古屋鉄道の利用促進につなげる。
- ・商業施設、スポンサー事業者等と連携し、パンフレットの設置、PRチラシ等の配布を行い、積極的な周知に努める。

■課題2

確認指標にあるチョイソコふそう利用者一人当たりの町負担額について、前年度比から上がっており、今後も燃料費や人件費の上昇や会員数上昇に伴う管理費の増加等により、今後負担額増加が見込まれる。

【対策】

- ・チョイソコふそう運行事業に賛同いただける新規スポンサーを獲得する。
- ・停留所の位置や停留所ごとの利用者数を分析し、効率的な運行方法を模索していく。

■課題3

チョイソコふそう利用者の増加に伴い、予約の不成立状況が増加しており、不成立数を減少させる必要がある。

【対策】

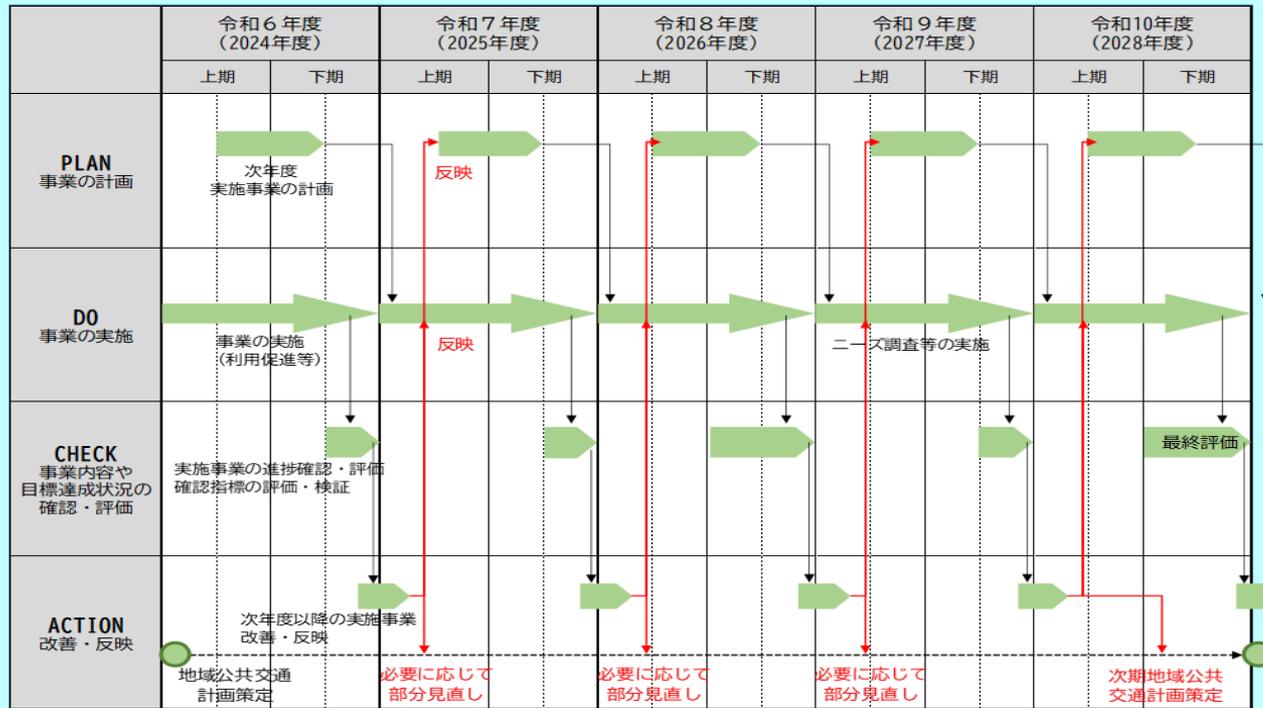
- ・利用者の予約が午前の時間帯に集中しているため、チラシ、HP等を利用し、比較的空いている午後の時間帯の利用を促す。
- ・他の公共交通機関やスポンサーと連携し、利用時間帯を分散することで、予約の偏りを解消する。

■共通の課題

- ・免許返納者の増加
返納者への公共交通利用啓発を開発部署と検討していく。
- ・ニーズに即した交通モードの選択
扶桑町で接続する公共交通を把握することや、窓口隣接行政の公共交通パンフレットを設置することで、公共交通利用者を誘導する。(継続)
- ・高齢者だけでなく、幅広い世代への公共交通利用促進。
子供や子育て世代等への利用啓発ができるよう、関係部署と検討していく。

6. 計画・評価の推進体制

【計画の評価・検証スケジュール】 扶桑町地域公共交通計画 (P.6-1)



【直近の協議会の実施状況】

開催日	主な議題
令和6年6月24日	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について 扶桑町地域公共交通計画改訂案について、チョイソコふそう運賃について チョイソコふそう実証運行経過報告について
令和7年1月31日	チョイソコふそう実証運行結果について 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について 本格運行経過報告について、予算について
令和7年5月30日	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の認定申請について 扶桑町地域公共交通計画の事業評価の協議について 本格運行経過報告について、決算の承認について

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	扶桑町地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>扶桑町の公共交通は、東西の近隣市町へ通じる名古屋鉄道犬山線の幹線交通を軸に、町域内はタクシー及びデマンド交通(チョイソコふそう)によって構成されている。デマンド交通は、幹線交通等へ直接的な接続を含めた町内全域及び隣接市である江南市の江南厚生病院の指定停留所間の移動可能な交通モードである。これらの公共交通は、町内外への通勤・通学、病院・診療所への通院、商店やスーパーなどへの買い物や公共施設への移動に利用され、日常生活に必要不可欠な交通手段として機能している。また、デマンド交通が、地域間交通ネットワークである名古屋鉄道へのフィーダー(支線)の役割を果たし、利便性の高い交通手段として機能している。</p> <p>町民の交通手段を確保することは、日常生活の維持だけでなく、本町の人口定着・広域連携やまちづくりにも大きく寄与するものであるため、町内の公共交通機関の軸として、交通弱者の利用が多いデマンド交通は、定時路線型バスが運行されていない町内では唯一の公共交通であり、高齢者や自動車免許自主返納者の増加に伴い、今後利用者の増加が予測され、運行を持続する重要性が高まっている。</p> <p>今後も社会情勢が変化していく中、交通弱者や町民の足として、引き続きデマンド交通を確保・維持することで、町民の交通手段を存続させていくことが必要である。</p>
-----------------------------	--

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 扶桑町地域公共交通会議

評価対象事業名: 公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
犬山タクシー(株) ※運行事業者	チョイソコふそう (区域運行)	令和7年度新規事業のため、前回の事業評価なし。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に事業が実施された。	B ・デマンド交通の利用者数 目標:1日51人(件)以上 実績:57人(達成) ・チョイソコふそう利用者一人あたりの町負担額 目標:1,646円/人以下 実績:1,700円/人(未達成)	・利用者数の1日あたりの目標件数は達成したが、事業に係る燃料費及び人件費の上昇もあり、一人あたりの町負担額は未達成となった。今後も、事業費については増加が見込まれるが、会員登録者数は増加しているため、積極的にチョイソコを利用してもらえるよう周知方法の工夫や事業に賛同いただけるスポンサーの獲得を行い、利用促進を図っていきたい。